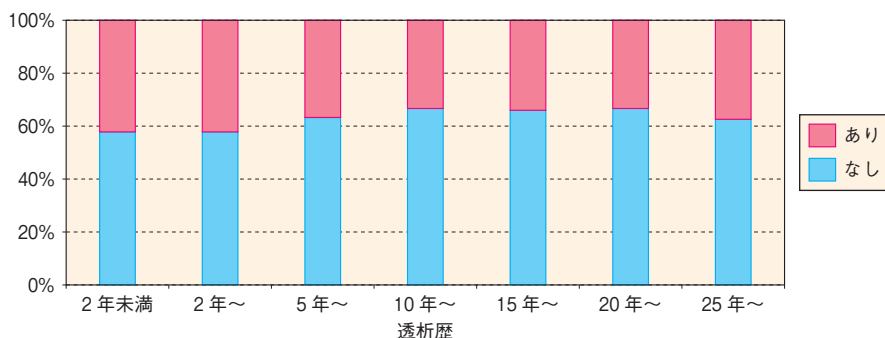


3) CKD-MBD 関連

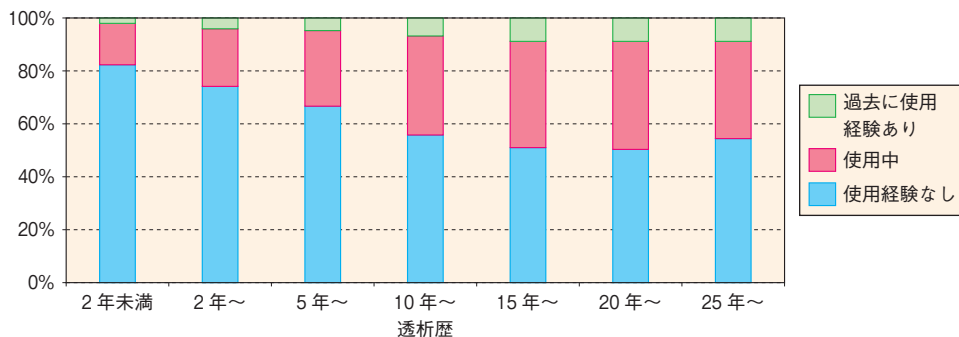
(7) 経口、静注ビタミンD剤および塩酸シナカルセトの使用状況（透析歴別）（図表43）



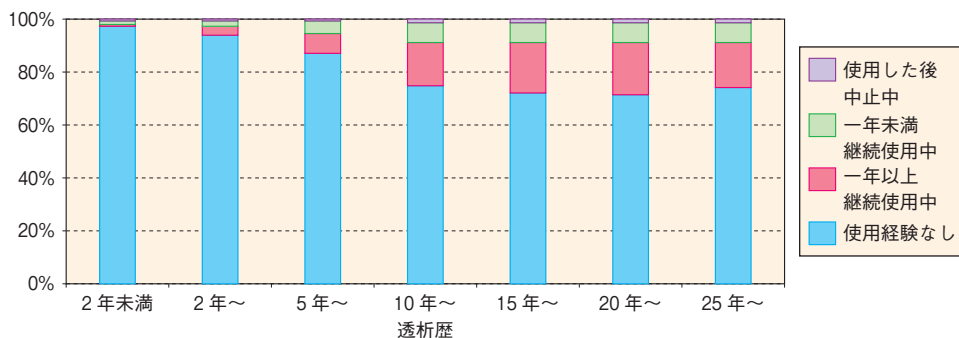
グラフ1 経口ビタミンD剤使用の有無 透析歴別



グラフ2 静注ビタミンD剤使用の有無 透析歴別



グラフ3 塩酸シナカルセト使用の有無 透析歴別



患者調査による集計

グラフ1 集計対象：232,330人
 グラフ2 集計対象：222,998人
 グラフ3 集計対象：226,744人

解説

静注ビタミンD剤と塩酸シナカルセトでは、透析歴が長い患者程使用率が高い傾向にあった。特に透析歴10年以上の患者では、両薬剤の使用頻度が高い。一方、経口ビタミンD剤の使用率と透析歴には関連性が少なかった。